

鳥取市消防団無線運用手引書

MCA／IP無線システム

令和3年4月（更新：令和4年4月）

鳥取市危機管理部

危機管理課

内容

1	鳥取市消防団無線の概要	1
	無線システムについて	1
	無線回線の特徴	1
	各分団への配備数	2
2	使用上の注意	4
	無線機の扱い方	4
	保管方法	4
	定期点検のお願い	4
3	無線機の諸元	5
	車載局	5
	携帯局	8
4	無線操作方法	10
	通信体系表	10
	車載局の起動動作	10
	携帯局の起動動作	11
	特定小電力無線機の接続・取外方法	11
	呼出し先の選択	12
	指令局の動態管理機能	18
5	無線交信要領	19
	基本事項	19
	呼出及び応答	20
	最低限必要な伝達内容	23
	無線交信の留意事項	23
	表 1 無線局配備数一覧	2
	表 2 点検項目一覧	4
	表 3 グループ通信の操作方法（車載局）	12
	表 4 グループ通信の操作方法（携帯局）	14
	表 5 個別通信の操作方法（車載局）	15
	表 6 個別通信の操作方法（携帯局）	17
	表 7 通信体系表	24

1 鳥取市消防団無線の概要

無線システムについて

本市の採用する消防団用無線は、移動無線センターのデジタルMCA無線回線とNTT docomoのLTE・3G公衆無線ネットワーク（IP無線回線）を利用して運用する二重通信システムです。【図1参照】

どちらかのネットワークが圏外や障害発生した場合にも自動で切り替えを行い、利用者が意識することなく通信することができます。

強制指令、一括通信、グループ通信および個別通信が可能であり、また、携帯局の位置情報を指令局にて確認する動態管理機能を有します。

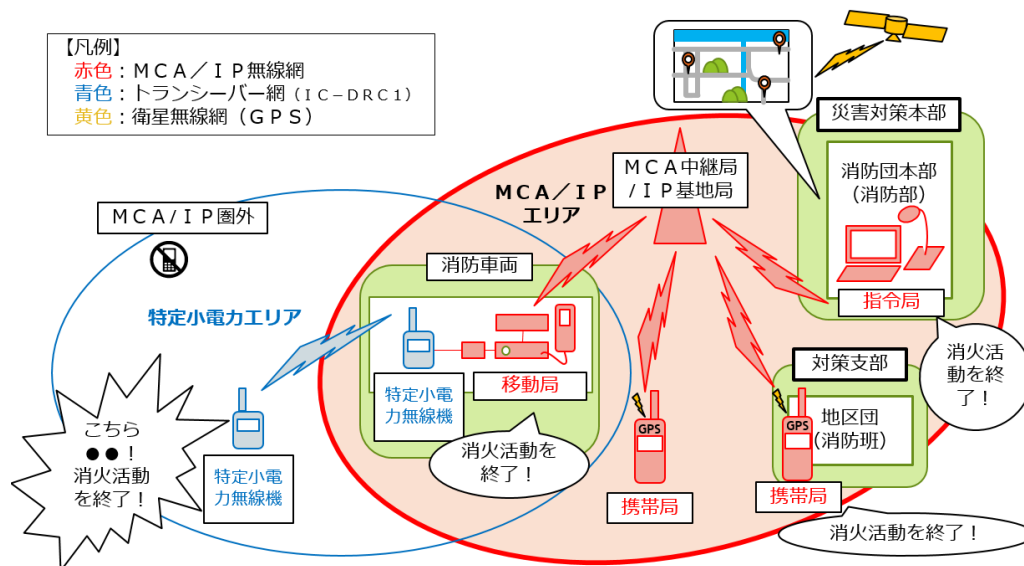


図1 消防団用無線の構成イメージ

無線回線の特性

【デジタルMCA無線回線】

800MHz帯の電波を使用し、特定の基地局で複数の通信チャンネルを多数の利用者が共同利用する無線通信システムです。

利用者ごとに決められた独自のユーザ番号で通信を制御するため、他の利用者の無線機と混信することなく、秘話性に優れています。

【IP無線回線】

2GHz帯や1.7GHz帯のLTEと、800MHz帯の3Gを使用し、複数整備された無線基地局の電波を多数の利用者が共同利用する無線通信システムです。

常に近隣の基地局の電波をリレーして受信させることで通話が途切れにくい特徴（ハンドオーバー技術）や、送信中に複数に分割された電波を再び集めることで通信の品質を落ちにくくする特徴（レイク受信）があります。

各分団への配備数

指令局 1局（配備先：消防団本部）

車載局 53局（配備先：全消防車両）

携帯局 109局（配備先：消防団本部員・地区団長、副地区団長、分団長、消防局等）

表 1 無線局配備数一覧

所属			車載局 (車両数)	携帯局	特定小電力無線	
ブロック	地区	分団			団員用	車両用
消防団本部				7	3	
第1	鳥取地区	神戸分団	1	1	3	1
		大和分団	1	1	3	1
		美穂分団	2	1	3	2
		大正分団	1	1	3	1
		東郷分団	1	1	3	1
第2		倉田分団	1	1	3	1
		美保分団	1	1	3	1
		米里分団	1	1	3	1
		面影分団	1	1	3	1
		稲葉分団	1	1	3	1
		津ノ井分団	1	1	3	1
第3		大郷分団	1	1	3	1
		吉岡分団	1	1	3	1
		松保分団	1	1	3	1
		豊美分団	1	1	3	1
		明治分団	2	1	3	2
第4		賀露分団	1	1	3	1
		湖山分団	1	1	3	1
		末恒分団	1	1	3	1
		千代水分団	1	1	3	1
		中ノ郷分団	1	1	3	1
第5	国府地区	本部		3		
		第1分団	1	1	3	1
		第2分団	1	1	3	1
		第3分団	1	1	3	1
		第4分団	1	1	3	1

	福部地区	本部		3			
		第1分団	1	1	3	1	
		第2分団		1	3		
		第3分団		1	3		
第6	河原地区	本部		3			
		本部分団	1	1	3	1	
		第1分団	1	1	3	1	
		第2分団	1	1	3	1	
		第3分団	1	1	3	1	
	用瀬地区	本部		3			
		用瀬分団	1	1	3	1	
		社分団	1	1	3	1	
		大村分団	1	1	3	1	
	佐治地区	本部		3			
		第1分団	1	1	3	1	
		第2分団	1	1	3	1	
第7	気高地区	本部		3			
		第1分団	2	1	3	2	
		第2分団	1	1	3	1	
		第3分団	1	1	3	1	
		第4分団	1	1	3	1	
		第5分団	1	1	3	1	
	鹿野地区	本部		3			
		第1分団	1	1	3	1	
		第2分団	1	1	3	1	
		第3分団	1	1	3	1	
	青谷地区	本部		3			
		第1分団	2	1	3	2	
		第2分団	1	1	3	1	
		第3分団	1	1	3	1	
		第4分団	1	1	3	1	
		第5分団	2	1	3	2	
	市役所（災害対策本部）				9		
	消防局				19		
合計			53	109			

2 使用上の注意

無線機の扱い方

- ・高精度部品を使用しておりますので、乱暴な取り扱いや落下など、強い衝撃を与えないようにしてください。
- ・アンテナの先端をつかんで持ち歩かないでください。
- ・本体の清掃には、シンナー・ベンジン・接点スプレー・洗剤などは使用しないでください。
- ・化学雑巾を使用する場合は、その製品の注意事項に従い使用適否を判断してください。
- ・真夏の直射日光の当たる場所や、車のダッシュボードの上など、極端に高温になる場所には、長時間置いたままにしないでください。
- ・電波法により、無線機やマイクを分解、改造、指定以外の装置を接続することは禁じられています。

保管方法

【保管場所】

湿度が低く、気温差も少ない場所に保管してください。

例：トイレや洗い場から離れ、かつ、直射日光が当たらない場所

【充電方法】

常時、使用できることが前提となるので、こまめに充電してください。

また、なるべく電源はOFFにして、充電器に差し込むようお願いいたします。

※電源ONのまま充電すると、バッテリーが劣化しやすくなってしまいます。

定期点検のお願い

機械器具の毎月点検に併せ、表2「点検項目一覧」により無線点検の実施をお願いします。

通信試験は、特定小電力無線（トランシーバー）を接続した車載局と携帯局の間の個別通信で行うこととし、後述の『5無線交信要領』（3）－1通信試験および（3）－2メリット表により実施してください。

【注意！！】試験後は、チャンネルを「一括」に戻してください。

また、無線の試験に併せて、携帯局の充電状況の確認をお願いします。

表 2 点検項目一覧

検査項目		規格
外観	本体・液晶	変形や破損、固定具等の外れがあるか
	アンテナ	変形や破損、固定具等の外れがあるか
通話（通信試験）		車載・携帯間で通話できるか
音量ボリューム		通話中に音量調整できるか
バッテリー（携帯局）		充電が消費していないか

3 無線機の諸元

車載局

【機種】

移動無線電話装置（車載用）EF-6195GXR（テンキーマイク EH-M01）

eブリッジアダプタ CET1378FA

IC-DRCアダプタ CET5019LA

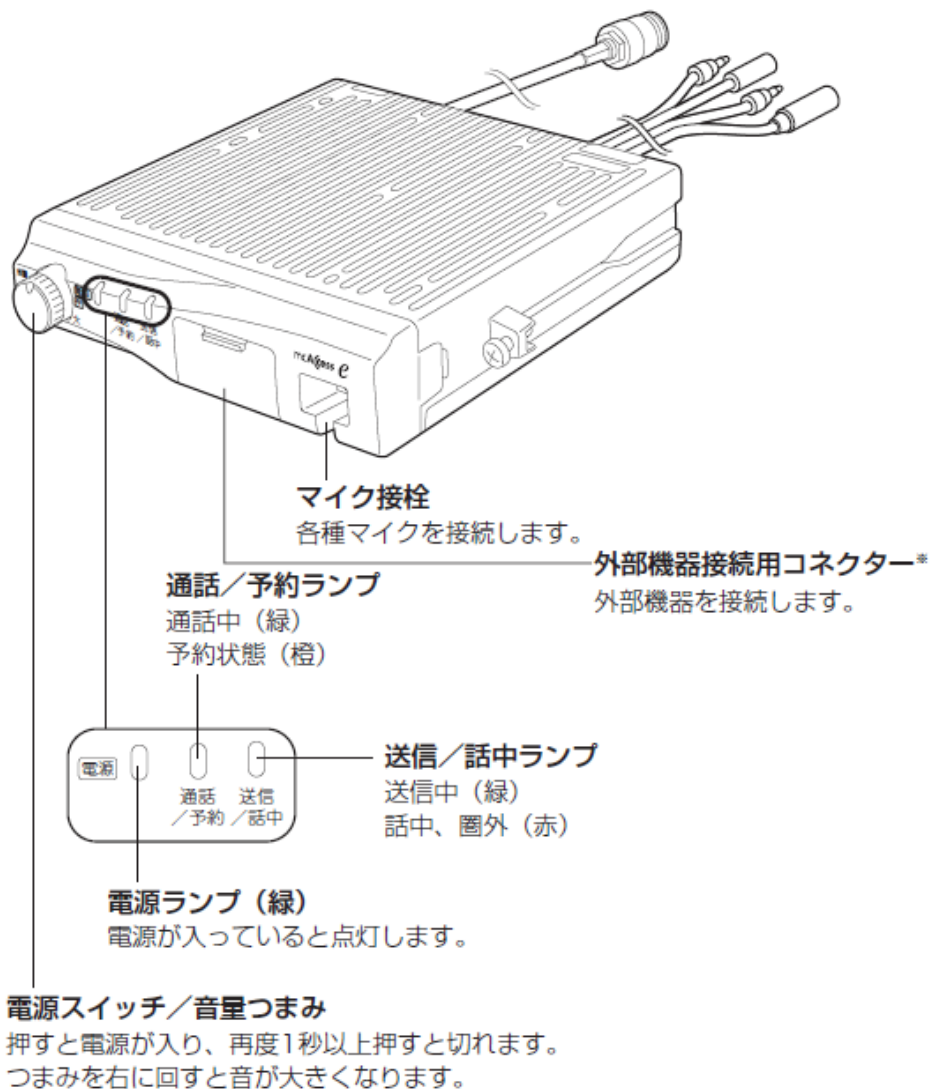


【仕様】 ※移動無線電話装置本体のみ

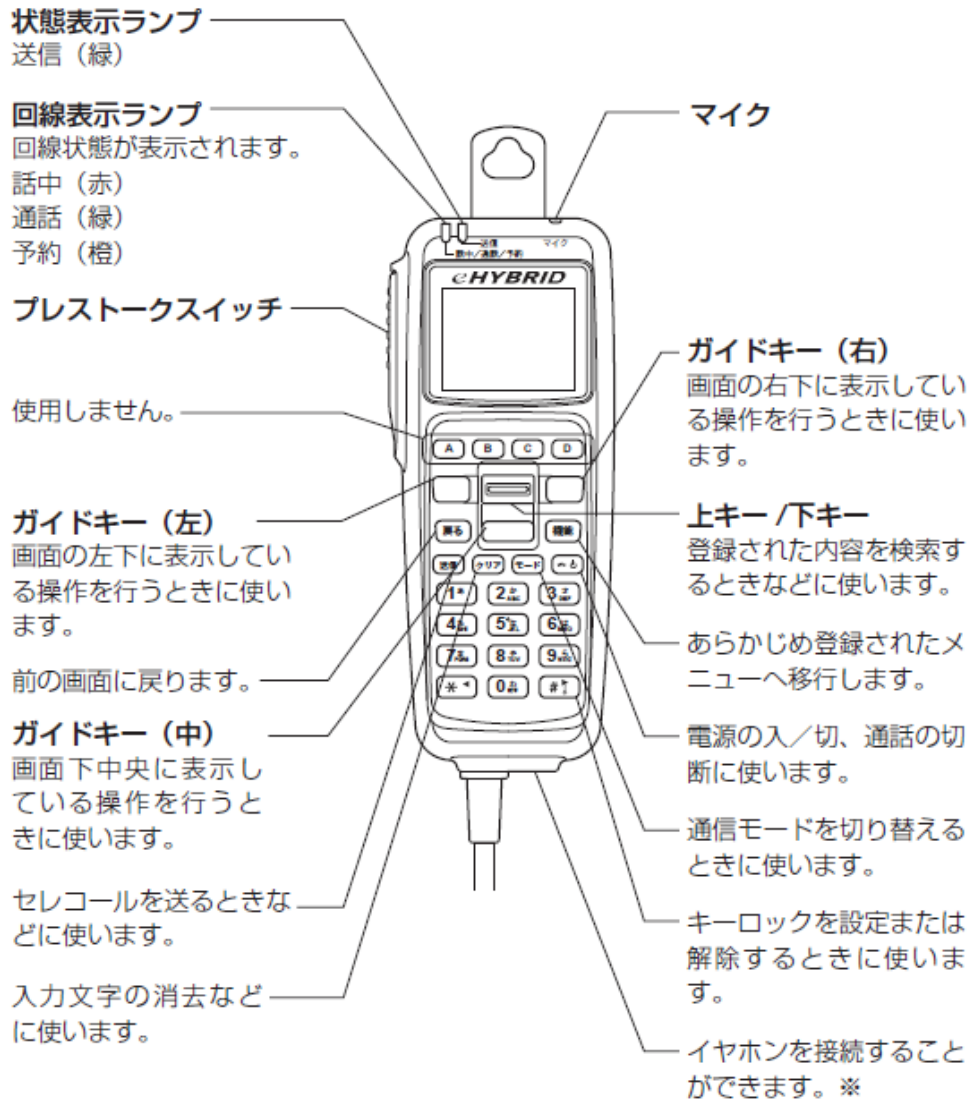
外形寸法	約 140(W) mm×約 150(D) mm×約 34(H) mm
質量	約 0.9 kg
電源電圧	13.8 V、26.4 V
電波形式	G1B、G1C、G1D、G1E、G1F、G1X、G7W、G7X
周波数範囲送信波	930.025 MHz ~ 939.975 MHz
受信波	850.025 MHz ~ 859.975 MHz
通信方式	2周波単信方式（複信も可）
アクセス方式	TDM/TDMA
多重数	4 多重
無線帯域伝送速度	32 kbps ※
フレーム長	40 ms
送信出力	2W
発振方式周波数	周波数シンセサイザ方式
変調方式	$\pi/4$ シフト QPSK
受信方法	スーパーヘテロダイン方式

【各部の名称と機能】

移動無線電話装置（車載用）本体



【テンキーマイク】 ※スピーカーのみ後面

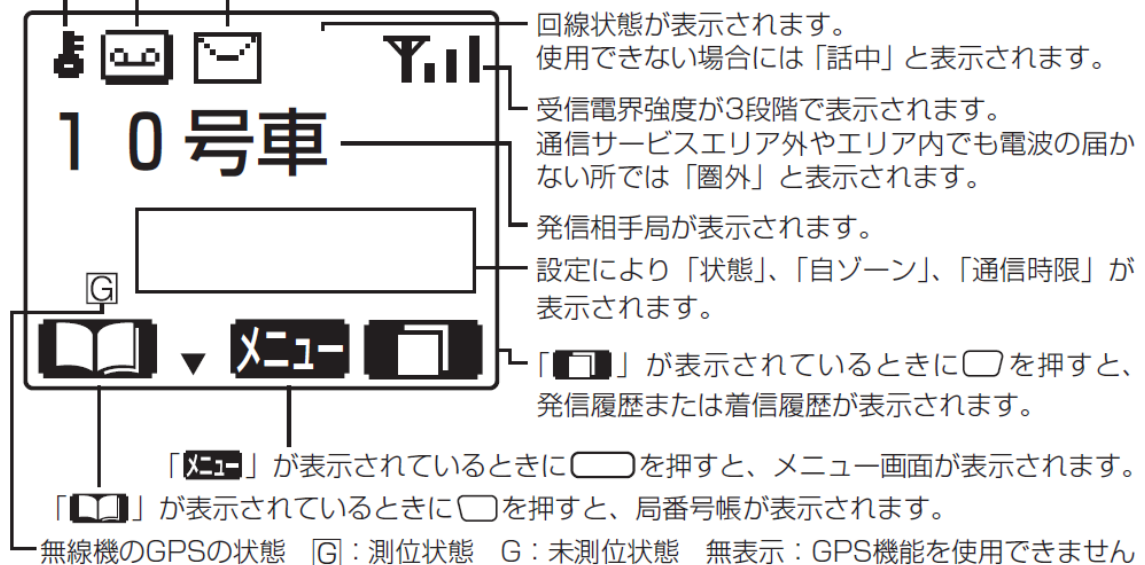


【ディスプレイ表示】

キーロックが設定されていると表示されます。

通話メモが設定されていると表示されます。

未確認のメール、伝言メモがあると表示されます。



携帯局

【機種】

e + 携帯型無線機 EK-6180A

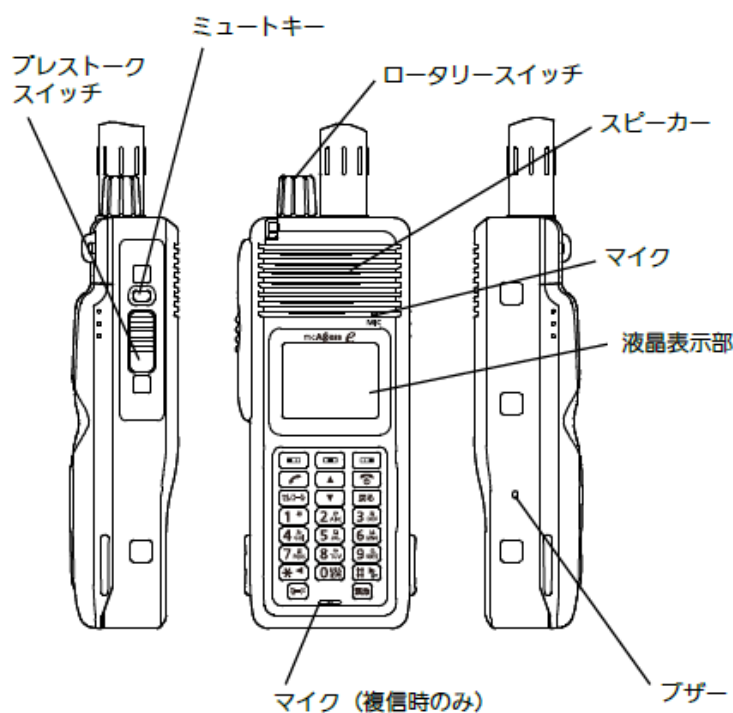
【仕様】

外形寸法	約58(W)mm × 約35(D)mm × 約149(H)mm (アンテナ除く)
質量	約360g (本体と電池パックを含む。)
MCA無線	
変調方式	$\pi/4$ シフトQPSK
通信方式	2波半複信 / 2波複信方式
接続方式	時分割多元接続方式(TDMA)
伝送速度	32kbps
基本フレーム長	40ms(4多重)
送信出力	2W
IP無線	
周波数	FDD-LTE (1, 19, 21)
送信出力	FDD-LTE規格に準ずる



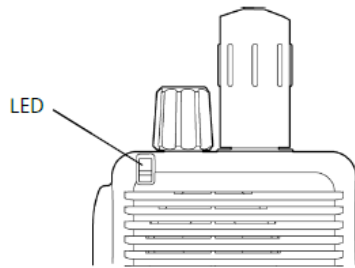
【各部の名称と機能】

e + 携帯型無線機本体

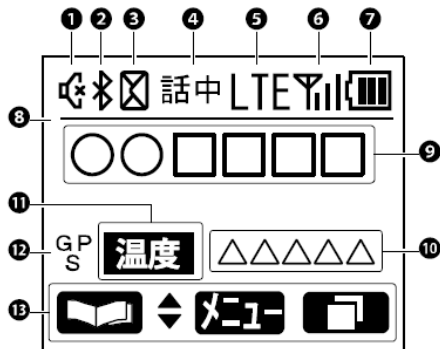


No.	ボタン名称	主な機能
1		画面左下に表示されるガイドキーの操作 (局番号帳、クリア、他)
2		画面中央に表示されるガイドキーの操作 (メニュー、文字確定、他)
3		画面右下に表示されるガイドキーの操作 (履歴、切替、他)
4		待ち受け時：登録内容の検索 通話時：受話音量の調節
5		電源のON/OFF (長押し)、通話終了
6		発呼
7		元画面への移行
8		セレコール (取消含む) の送信
9		通信モード (全グループ/グループ/個別/全グループ斉/電話) の切替
10		番号/文字の入力
11		*入力、カーソル移動 (左)
12		#入力、カーソル移動 (右)、キーロック設定 (長押し)
13	ミュート	ミュート設定/解除 (長押し)
14	プレストークスイッチ	発呼および (プレストーク通信時) 音声送信
15	ロータリースイッチ	待ち受け時：登録内容の検索 通話時：受話音量の調節
16		指令局への緊急通報実施、緊急解除 (長押し)

【LED表示】



【ディスプレイ表示】



①スピーカー／ミュートマーク

- 🔊 : 無線機モード時 点灯
- 📞 : 電話機モード時単信通信中 点灯
- 🔇 : ミュート設定時 点灯

②Bluetooth

- M₁ : マイク 1 接続済 点灯
- M₂ : マイク 2 接続済 点灯
- 📶 : Bluetooth ON 点灯
- 🔌 : Bluetooth OFF 消灯

③ユーザー表示／メール表示

- 主 : メインユーザー 点灯
(複数ユーザー待ち受け時に有効)
- 副 : サブユーザー 点灯
(複数ユーザー待ち受け時に有効)
- 📧 : データ着信中 点灯
- ✉ : メール着信時 点灯 (✉は満杯)

④無線回線状態

- 話中 : 通話不可時 点灯
(他局送信時、回線混雑時および発信規制中 他)
- 送信 : 無線送信中 点灯
- 通話 : 通話可能時 点灯
- 制限 : 単一无線ゾーン時 点灯
- グ× : 管外ゾーン在圏時 点灯
- 予約 : 予約時 点灯
- モニタ : 緊急モニタ受信時 点灯

⑤LTE 圏外／圏内表示

- LTE : LTE 圏内時 点灯
- LTE : LTE 圏外時 消灯

No.	表示	端末の状態
1	緑点灯	送話中
2	緑点滅	セレコール・不在着信未確認
3	赤点灯	話中、圏外
4	赤点滅	話中 (ミュート状態)
5	橙点灯	予約中
6	橙点滅	Bluetooth マイク検索中、保守中
7	赤高速点滅	障害発生時

⑥MCA 圏外／圏内表示 (受信電界表示)

- 📶 : 受信電波の強度を表示 (本数が多いほど強い)
- MCA 圏内時点灯、MCA 圏外時消灯

※⑤⑥ともに圏外の場合は「圏外」点灯

⑦電池／エコマーク

- 🔋 : 現在の電池残量を表示
(本数が多いほど残量が多い)
- 🔋 : 乾電池使用時 (残量は表示しません)
- 🔋 : エコモード時
(本数が多いほど残量が多い)

⑧受話音声表示

- 線表示あり : IP 経由音声再生時
- 線表示なし : MCA 経由音声再生時

⑨相手局表示

発信する相手局名称や、相手局の発信モード・個別番号・グループ番号を表示

⑩通信制限表示

通話制限時間を表示 (通信中はダウンカウント)
設定により、状態・在圏ゾーンなどに表示変更が可能

⑪温度警告／緊急表示／通信モード

- 温度 : 無線装置本体の温度上昇警告時 点灯
- 緊急 : 緊急状態時 点灯
- 解除 : 緊急解除状態 (緊急通報未実施) 時 点灯

発信する通信モードを表示

- 全グ : 全グループモード時
- グル : グループモード時
- 個別 : 個別モード時
- 電話 : 電話モード時
- 一斉 : 全グループ一斉モード時

⑫GPS マーク

- 📍 : GPS 捕捉 OK
- 📍 : GPS 捕捉 NG

⑬ガイドキー表示

🔍 📞 📧 ⬆️ ⬇️ キーを押したときの操作内容を表示

4 無線操作方法

通信体系表

表2 通信体系表 参照 (p 24)

車載局の起動動作

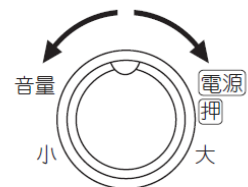
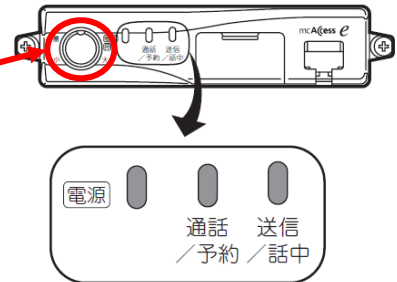
(1) 電源ON/OFFと音量調整

① 電源ボタンを押してください。

無線機本体の全てのランプが緑色に点灯した後、通話/予約ランプと送信/話中ランプは赤色点灯に変わります。

電源を切る場合は、電源ボタンを1秒以上押してください。
※車両のエンジンに連動して電源がONとなるため、通常は、本操作を行いません。

② 音量調整は、ロータリースイッチを回して調整してください。



(2) 通信ユニット LED の表示

IP電話回線は、使えるまで電源ONから30秒程度かかります。

- ・ 緑点灯又は青点灯 : 3G(緑)/LTE(青)回線で接続されています。
- ・ 赤点滅 : 3G/LTE が圏外になっています。
- ・ 消灯 : 電源が入っていません。



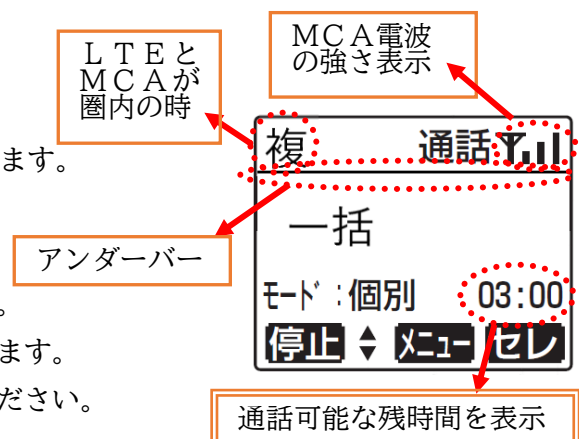
(3) ハンドマイク液晶の表示 (通信回線等)

複 : IP 網と MCA が圏内の時、表示します。

-(アンダーバー) : IP 網の圏内の場合に表示されます。

IP 網が圏外の場合は、表示されません。

- ・ 通信中は通信時限までの残時間が表示されます。
残り時間が無くなると通信が自動的に切断されます。
続けて通話をしたい場合は再度通信を行ってください。



携帯局の起動動作

(1) 電源ON/OFFと音量調整


右図の無線機のロータリースイッチを次の通り操作してください。

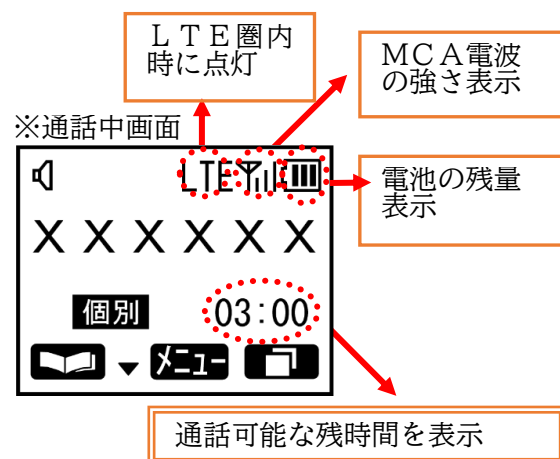
- ① 電源ON/OFFは、電源ボタンを約2秒以上長押ししてください。
- ① 音量調整は、ロータリースイッチを回して調整してください。



(2) 液晶の表示 (通信回線等)

IP電話回線は、使えるまで電源ONから30秒程度かかりLTE点灯したら使えます。

- ・「LTE」の表示がIP通信圏内を表します。
 - ・「」の表示 (アンテナバー) がMCA通信圏内を表します。本数が多いほど、受信電波が強いです。
 - ・「圏外」と表示されていると通話できません。
- ・通信中は通信時限までの残時間が表示されます。残り時間が無くなると通信が自動的に切断されます。続けて通話をしたい場合は再度通信を行ってください。



特定小電力無線機の接続・取外方法

マイク・イヤホンケーブルをジャックに差し込み、機器の電源をONにします。





呼出し先の選択

表2 通信体系表 (p 24) に記載のグループを呼び出します。

旧無線機器の「チャンネル合わせ」と同義です。

(1) グループ通信

【車載局】

各消防車両に設置している車載局から、各グループに所属する車載局・携帯局を呼び出します。

表3 グループ通信の操作方法 (車載局)

手順	操作前画面・ボタン位置	操作結果	操作後画面
①左ガイドキーを押します。		検索画面が表示されます。	

<p>② 上下キーの『上』を押します。</p>		<p>グループ一覧表が表示されます。</p>	<div data-bbox="1066 282 1385 539" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>局番号帳</p> <p>G本部員</p> <p>G本部</p> <p>一括</p> <p>前頁 ◀ 選択 ▶ 次頁</p> </div> <p>下から順番に上位通信グループが表示されます。</p>
<p>③ 上下キーを押して選択位置を変えます。</p>		<p>選択中のグループが操作に合わせて上下します。 ※黒色塗りつぶし位置が選択しているグループです。</p>	<div data-bbox="1066 846 1385 1104" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>局番号帳</p> <p>G本部員</p> <p>G本部</p> <p>一括</p> <p>前頁 ◀ 選択 ▶ 次頁</p> </div> <p style="text-align: right;">↑</p>
<p>④ 相手先が決定したらプレストークスイッチで通信してください。</p>		<p>通信を開始します。</p> <p>【注意】 中央ガイドキーを押して「選択」すると、別画面が表示されます!!</p>	<div data-bbox="1066 1406 1385 1653" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>確認</p> <p>G本部員</p> <p>接続中</p> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div data-bbox="1066 1686 1385 1944" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>送信 送信音</p> <p>G本部員</p> <p>モード：個別 03:00</p> <p>録音 ◀ X 次</p> </div>

【携帯局】

各幹部・分団長に配備している携帯局から、各グループに所属する車載局・携帯局を呼び出します。

表 4 グループ通信の操作方法（携帯局）

手順	操作前画面・ボタン位置	操作結果	操作後画面
①左ガイドキーを押します。		検索画面が表示されます。	
②上下キーの『上』を押します。		グループ一覧表が表示されます。	 下から順番に上位通信グループが表示されます。
③上下キーを押して選択位置を変えます。		選択中のグループが操作に合わせて上下します。 ※黒色塗りつぶし位置が選択しているグループです。	

<p>④相手先が決定したらプレストークスイッチで通信してください。</p>		<p>通信を開始します。</p> <p>【注意】 中央ガイドキーを押して「選択」すると、別画面が表示されます!!</p>	
---------------------------------------	---	--	---

(2) 個別通信

【車載局】

各消防車両に設置している車載局から、それぞれの車載局・携帯局を個別に呼び出します。

表 5 個別通信の操作方法（車載局）

手順	操作前画面・ボタン位置	操作結果	操作後画面
<p>①左ガイドキーを押します。</p>		<p>検索画面が表示されます。</p>	

<p>② 上下キーの『下』を押します。</p>		<p>グループ一覧表が表示されます。</p>	 <p>下から順番に上位通信グループが表示されます。</p>
<p>③ 上下キーを押して選択位置を変えます。</p>		<p>選択中のグループが操作に合わせて上下します。 ※黒色塗りつぶし位置が選択しているグループです。</p>	
<p>④ 相手先が決定したらプレストークスイッチで通信してください。</p>		<p>通信を開始します。</p> <p>【注意】 中央ガイドキーを押して「選択」すると、別画面が表示されます!!</p>	

【携帯局】

各幹部・分団長に配備している携帯局から、それぞれの車載局・携帯局を個別に呼び出します。

表 6 個別通信の操作方法（携帯局）

手順	操作前画面・ボタン位置	操作結果	操作後画面
①左ガイドキーを押します。		検索画面が表示されます。	
②上下キーの『下』を押します。		グループ一覧表が表示されます。	 上から順番に団長・筆頭副団長…と表示されます。
③上下キーを押して選択位置を変えます。		選択中のグループが操作に合わせて上下します。 ※黒色塗りつぶし位置が選択しているグループです。	

④相手先が決定したらプレストークスイッチで通信してください。



通信を開始します。

【注意】
中央ガイドキーを押して「選択」すると、別画面が表示されます!!



指令局の動態管理機能

指令局では、団員が遭難した場合などの迅速な搜索活動や KY 活動に資するため、次の機能を有します。

- ・全国版地図ソフトに携帯局の位置情報を表示し、移動歴を追跡する動態管理機能。
- ・無線局の待機中、通話中など状態を確認する状態監視機能。
- ・随時に呼出しを行い、携帯局の通信可否を確認するポーリング機能。



※本機器の操作方法については、別途、詳細な説明書をご確認ください。

5 無線交信要領

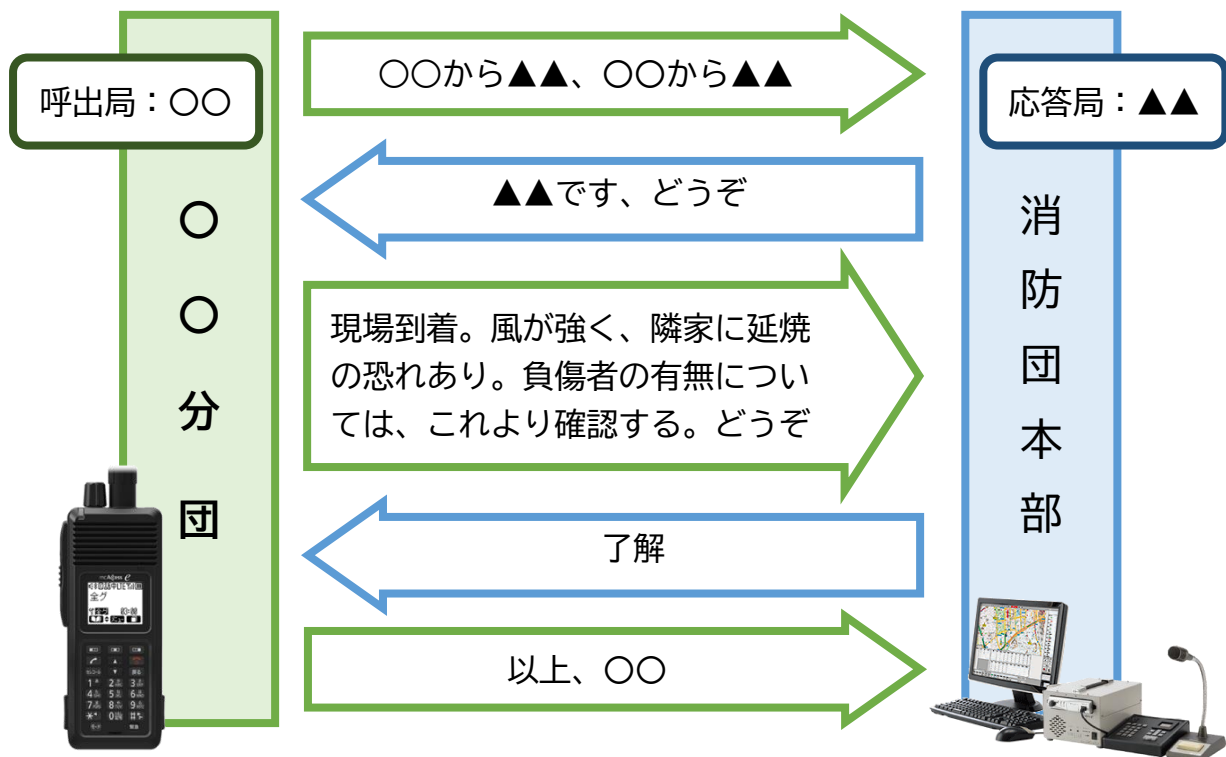
基本事項

消防無線運用要領を基に、次の通り無線交信を行ってください。

- 【重要①】 通話は、敬語を使用せず、簡潔明瞭に行ってください。
- 【重要②】 相手局呼出時には「どうぞ」を付加しないください。
- 【重要③】 自局の呼出であることが確実でない呼出を受信したときは、その呼出の相手局が確実に判明するまで応答しないでください。
- 【重要④】 「以上」は、通話を終える際に、呼出を行った無線局が行います。
- 【重要⑤】 活動後は「一括」グループに合わせてください。

- ・ハンドマイクの方向に口を向け、口元から5cm程度離れた位置で通信してください。
- ・通信体系表により定められた呼出名称で呼び出してください。
- ・通話速度は日常会話程度とし、音声は歯切れよく話してください。
- ・通話内容の頭切れを防ぐため、プレストークボタンを押してから1～2秒開けて通話を始めてください。
- ・正確に通話するため、送信内容に誤りがあった際は、即時に訂正してください。

【通信のイメージ】 ※普通通信の場合



呼出及び応答

(1) 普通通話

※呼出局：○○ 応答局：▲▲

交信の流れ	要領	通信例	留意事項
① 呼出 呼出局 ➡ 応答局	自局名称 1回 から 1回 相手局名称 1回 (1回繰り返し)	相手の呼出し 「○○から▲▲、○○ から▲▲」	頭切れ防止のため、1 回繰り返してください。
	自局名称 1回 から 1回 各局 1回 (1回繰り返し)	全無線局への呼出し 「○○から各局、○○ から各局」	全方面の無線局のす べてを呼び出す場合、 呼出しを行った無線 局のみ通信します。
② 応答 呼出局 ← 応答局	自局名称 1回 です 1回 どうぞ 1回	呼出しへの応答 「▲▲です、どうぞ」	直ちに応答できない 場合は、「どうぞ」に代 えて「しばらく待て」 を送信するものとし ます。
	自局名称 1回 です 1回 さらにどうぞ 1回	不確実な呼出しに対す る応答 「▲▲です、さらにど うぞ」	自局に対する呼出し だが、呼出しを行った 無線局の呼出し名称 等が不明である場合 に用いてください。
③ 通信 呼出局 ➡ 応答局	○現場到着 ○災害の状況報告 ○負傷者の情報 ○応援要請 ○活動報告	伝達内容の通信 「－通信事項－」	後述の『最低限必要な 伝達内容』を参考に、 簡潔な内容としてく ださい。
④ 返信 呼出局 ← 応答局	りょうかい 1回	伝達内容に対する回答 を通信 「了解」	
	相手局名称 1回 かさねて 1回 どうぞ 1回	再送の要求 「○○、かさねて、どう ぞ」	送信内容が不明確な 場合は、再送の要求を 行うことができる。
⑤ 終了 呼出局 ➡ 応答局	いじょう 1回 自局名称 1回	通信を終了する。 「以上 ○○」	

(2) 緊急通話

※呼出局：○○ 応答局：▲▲

項目	要領	通信例	留意事項
① 呼出 呼出局 ➡ 応答局	しきゅう 2回 自局名称 1回 から 1回 相手局名称 1回 (1回繰り返し)	相手の呼出し 「至急！至急！○○か ら▲▲、至急！至急！ ○○から▲▲」	頭切れ防止のため、1 回繰り返してください。
	しきゅう 2回 自局名称 1回 から 1回 各局 1回 (1回繰り返し)	全無線局への呼出し 「至急！至急！○○か ら各局、至急！至急！ ○○から各局」	全方面の無線局のす べてを呼び出す場合、 は呼出しを行った無 線局のみ通信します。
② 応答 呼出局 ← 応答局	しきゅう 2回 自局名称 1回 です 1回 どうぞ 1回	呼出しへの応答 「至急！至急！▲▲で す、どうぞ」	直ちに応答できない 場合は、「どうぞ」に代 えて「しばらく待て」 を送信するものとし る。
	しきゅう 2回 自局名称 1回 です 1回 さらにどうぞ 1回	不確実な呼出しに対す る応答 「至急！至急！▲▲で す、さらにどうぞ」	自局に対する呼出し であるが、呼出しを行 った無線局の呼出し 名称等が不明である 場合に用いる。
③ 通信 呼出局 ➡ 応答局	○現場到着 ○災害の状況報告 ○負傷者の情報 ○応援要請 ○活動報告	伝達内容の通信 「－通信事項－」	後述の『最低限必要な 伝達内容』を参考に、 簡潔な内容としてく ださい。
④ 返信 呼出局 ← 応答局	りょうかい 1回	伝達内容に対する回答 を通信 「了解」	
	相手局名称 1回 かさねて 1回 どうぞ 1回	再送の要求 「○○、かさねて、どう ぞ」	送信内容が不明確な 場合は、再送の要求を 行うことができる。
⑤ 終了 呼出局 ➡ 応答局	いじょう 1回 自局名称 1回	通信を終了する。 「以上 ○○」	

(3) - 1 通信試験

※呼出局：○○ 応答局：▲▲

項目	要領	通信例	留意事項
① 呼出 呼出局 ➡ 応答局	自局名称 1回 から 1回 相手局名称 1回 (1回繰り返し)	相手の呼出し 「○○から▲▲、○○ から▲▲」	頭切れ防止のため、1 回繰り返ししてください。
② 通信 呼出局 ➡ 応答局	ただいま試験中 3回 こちらは 1回 自局名称 3回 本日は晴天なり 3回	試験内容 「ただいま試験中、た だいま試験中、ただい ま試験中、こちらは○ ○、○○、○○、本日は 晴天なり、本日は晴天 なり、本日は晴天なり」	
③ 要求 呼出局 ➡ 応答局	自局名称 1回 から 1回 相手局名称 1回 メリットいかが 1回 どうぞ 1回	受信メリットの要求 「○○から▲▲、メリ ットいかが、どうぞ」	直ちに応答できない 場合は、「どうぞ」に代 えて「しばらく待て」 を送信するものとし る。
④ 応答 呼出局 ← 応答局	こちら 1回 自局名称 1回 です 1回 相手局名称 1回 メリット□ 1回	受信メリットの応答 「こちら▲▲です、○ ○、メリット□」	自局に対する呼出し であるが、呼出しを行 った無線局の呼出し 名称等が不明である 場合に用いる。
⑤ 終了 呼出局 ➡ 応答局	りょうかい 1回 いじょう 1回 自局名称 1回	通信を終了する。 「了解、以上 ○○」	

(3) - 2 メリット表

メリット	内容
5	雑音なく、通話状態が良好。
4	雑音が少ないが、通話内容は完全に理解できる。
3	雑音があるが、通話内容は聞き取れる。
2	雑音が大きく、通話内容が半分くらいしか理解できない。
1	通話内容は不明だが、送信していることは確認できる。

※メリット：無線機の感度および明瞭度を表す指標。感明度。

最低限必要な伝達内容

【指揮本部→各分団】

○現場住所

○災害内容

災害種別、被害状況を簡潔に伝達する。また負傷者の情報もあれば伝達してください。

○活動内容

活動してほしい内容を簡潔に伝達してください。

○支援情報

危険な情報など知り得た情報は迅速かつ簡潔に伝達してください。

【各分団→指揮本部】

○現場到着

現場へ到着したら、報告を行ってください。

○災害の状況報告（延焼危険の有無）

広い視野で災害の全体像を把握し、伝達してください。

○負傷者の情報

負傷者がいれば、人数・性別・年齢・意識・怪我の状況を確認し伝達してください。

○応援要請

災害の状況を冷静に判断し、応援が必要であれば迅速に伝達してください。

○活動報告

どのような活動をしているのか、簡潔に伝達してください。

無線交信の留意事項

・無線操作を行う際は、通話時以外に送信状態にならないよう、プレストークボタンの操作に注意してください。

・建物内から無線交信する場合は、上層階で、かつ、交信相手に近い窓等から交信してください。

・車両走行中は、場所により送受信状態が変化するため、ディスプレイの圏内／圏外表示を確認しつつ交信してください。

・屋外、屋内を問わず交信出来ない場合には、移動して交信場所を変えることや、立っている向きを変えることで交信可能になる場合があります。

例：人家に近い場所に移動する。木などの少ない見通しの良い場所に移動する。

表 7 通信体系表

No.	所 属	局 名 称	呼 出 名 称	強 制 権 限	受信グループ															
					一 括	本 部	本 部 員	幹 部 副 含	幹 部	現 地 幹 部	鳥 取 幹 部	副 団 長 G	ブ ロ ック	地 区 団	ブ ロ 正 副	ブ ロ 団 長	局 団 一 括	東 部 消 防	女 性 分 団	市 役 所
1	指 令	指 令	指 令	●	○	○	○	○	○	○	○	○*	○*	○*	○*	○	○*	○	○	○
2	本 部	団 長	団 長	●	○	○	○	○	○	○	○	○*	○*	○*	○*	○	○*	○	○	○
3	本 部	筆頭副団長	今 崎 副 団 長	●	○	○	○	○	○	○	○	○*	○*	○*	○*	○	○*	○	○	○
4	本 部	副134担	中 村 副 団 長	●	○	○	○	○	○	○	○	○*	○*	○*	○*	○	○*	○	○	○
5	本 部	副 25 担	戎 崎 副 団 長	●	○	○	○	○	○	○	○	○*	○*	○*	○*	○	○*	○	○	○
6	本 部	副 6 担	山 根 副 団 長	●	○	○	○	○	○	○	○	○*	○*	○*	○*	○	○*	○	○	○
7	本 部	副 7 担	金 澤 副 団 長	●	○	○	○	○	○	○	○	○*	○*	○*	○*	○	○*	○	○	○
8	本 部	女性分団長	女 性 分 団		○	○		○	○									○		

No.	所 属	局 名 称	呼 出 名 称	強 制 権 限	受信グループ																	
					一 括	本 部	本 部 員	幹 部 副 含	幹 部	現 地 幹 部	鳥 取 幹 部	副 団 長 G	ブ ロ ック	地 区 団	ブ ロ 正 副	ブ ロ 団 長	局 団 一 括	東 部 消 防	女 性 分 団	市 役 所	危 機 管 理	
9	1プロ	車 神戸	神 戸 1		○			○	○				副134	1プロ					湖山管区			
10	1プロ	神戸分団長	神 戸 分 団 長		○			○	○	○	○		副134	1プロ					湖山管区			
11	1プロ	車 大和	大 和 1		○			○	○				副134	1プロ					湖山管区			
12	1プロ	大和分団長	大 和 分 団 長		○			○	○	○	○		副134	1プロ					湖山管区			
13	1プロ	車 朝月	美 穂 朝 月 1		○			○	○				副134	1プロ					湖山管区			
14	1プロ	車 下味野	美 穂 下 味 野 1		○			○	○				副134	1プロ					湖山管区			
15	1プロ	美穂分団長	美 穂 分 団 長		○			○	○	○	○		副134	1プロ					湖山管区			
16	1プロ	車 大正	大 正 1		○			○	○				副134	1プロ					湖山管区			
17	1プロ	大正分団長	大 正 分 団 長		○			○	○	○	○		副134	1プロ					湖山管区			

No.	所 属	局 名 称	呼 出 名 称	強 制 権 限	受信グループ																
					一 括	本 部	本 部 員	幹 部 副 含	幹 部	現 地 幹 部	鳥 取 幹 部	副 団 長 G	ブ ロ ック	地 区 団	ブ ロ 正 副	ブ ロ 団 長	局 団 一 括	東 部 消 防	女 性 分 団	市 役 所	危 機 管 理
18	1 ブロ	車 東郷	東 郷 1		○			○	○			副134	1ブロ					湖山管区			
19	1 ブロ	東郷分団長	東 郷 分 団 長		○			○	○	○	○	副134	1ブロ					湖山管区			
20	2 ブロ	車 倉田	倉 田 1		○			○	○			副25	2ブロ					鳥取管区			
21	2 ブロ	倉田分団長	倉 田 分 団 長		○			○	○	○	○	副25	2ブロ					鳥取管区			
22	2 ブロ	車 美保	美 保 1		○			○	○			副25	2ブロ					鳥取管区			
23	2 ブロ	美保分団長	美 保 分 団 長		○			○	○	○	○	副25	2ブロ					鳥取管区			
24	2 ブロ	車 米里	米 里 1		○			○	○			副25	2ブロ					鳥取管区			
25	2 ブロ	米里分団長	米 里 分 団 長		○			○	○	○	○	副25	2ブロ					鳥取管区			
26	2 ブロ	車 面影	面 影 1		○			○	○			副25	2ブロ					鳥取管区			

No.	所 属	局 名 称	呼 出 名 称	強 制 権 限	受信グループ																
					一 括	本 部	本 部 員	幹 部 副 含	幹 部	現 地 幹 部	鳥 取 幹 部	副 団 長 G	ブ ロ ック	地 区 団	ブ ロ 正 副	ブ ロ 団 長	局 団 一 括	東 部 消 防	女 性 分 団	市 役 所	危 機 管 理
27	2 ブロ	面影分団長	面影分団長		○			○	○	○	○	副25	2ブロ					鳥取管区			
28	2 ブロ	車 稲葉	稲 葉 1		○			○	○			副25	2ブロ					鳥取管区			
29	2 ブロ	稲葉分団長	稲葉分団長		○			○	○	○	○	副25	2ブロ					鳥取管区			
30	2 ブロ	車 津ノ井	津 ノ 井 1		○			○	○			副25	2ブロ					鳥取管区			
31	2 ブロ	津ノ井団長	津ノ井分団長		○			○	○	○	○	副25	2ブロ					鳥取管区			
32	3 ブロ	車 大郷	大 郷 1		○			○	○			副134	3ブロ					湖山管区			
33	3 ブロ	大郷分団長	大郷分団長		○			○	○	○	○	副134	3ブロ					湖山管区			
34	3 ブロ	車 吉岡	吉 岡 1		○			○	○			副134	3ブロ					湖山管区			
35	3 ブロ	吉岡分団長	吉岡分団長		○			○	○	○	○	副134	3ブロ					湖山管区			

No.	所 属	局 名 称	呼 出 名 称	強 制 権 限	受信グループ																
					一 括	本 部	本 部 員	幹 部 副 含	幹 部	現 地 幹 部	鳥 取 幹 部	副 団 長 G	ブ ロ ック	地 区 団	ブ ロ 正 副	ブ ロ 団 長	局 団 一 括	東 部 消 防	女 性 分 団	市 役 所	危 機 管 理
36	3プロ	車 松保	松 保 1		○			○	○			副134	3プロ					湖山管区			
37	3プロ	松保分団長	松保分団長		○			○	○	○	○	副134	3プロ					湖山管区			
38	3プロ	車 豊実	豊 実 1		○			○	○			副134	3プロ					湖山管区			
39	3プロ	豊実分団長	豊実分団長		○			○	○	○	○	副134	3プロ					湖山管区			
40	3プロ	車 上原	明 治 上 原 1		○			○	○			副134	3プロ					湖山管区			
41	3プロ	車 小原	明 治 小 原 1		○			○	○			副134	3プロ					湖山管区			
42	3プロ	明治分団長	明 治 分 団 長		○			○	○	○	○	副134	3プロ					湖山管区			
43	4プロ	車 賀露	賀 露 1		○			○	○			副134	4プロ					湖山管区			
44	4プロ	賀露分団長	賀 露 分 団 長		○			○	○	○	○	副134	4プロ					湖山管区			

No.	所 属	局 名 称	呼 出 名 称	強 制 権 限	受信グループ																
					一 括	本 部	本 部 員	幹 部 副 含	幹 部	現 地 幹 部	鳥 取 幹 部	副 団 長 G	ブ ロ ック	地 区 団	ブ ロ 正 副	ブ ロ 団 長	局 団 一 括	東 部 消 防	女 性 分 団	市 役 所	危 機 管 理
45	4 ブロ	車 湖山	湖 山 1		○			○	○			副134	4ブロ					湖山管区			
46	4 ブロ	湖山分団長	湖山分団長		○			○	○	○	○	副134	4ブロ					湖山管区			
47	4 ブロ	車 末恒	末 恒 1		○			○	○			副134	4ブロ					湖山管区			
48	4 ブロ	末恒分団長	末恒分団長		○			○	○	○	○	副134	4ブロ					湖山管区			
49	4 ブロ	車 千代水	千 代 水 1		○			○	○			副134	4ブロ					湖山管区			
50	4 ブロ	千代水団長	千代水分団長		○			○	○	○	○	副134	4ブロ					湖山管区			
51	4 ブロ	車 中ノ郷	中 ノ 郷 1		○			○	○			副134	4ブロ					鳥取管区			
52	4 ブロ	中ノ郷団長	中ノ郷分団長		○			○	○	○	○	副134	4ブロ					鳥取管区			
53	5 ブロ	国府地団長	国府地区団長		○			○	○	○		副25	5ブロ	国府 地区	5B 正副			鳥取管区			

No.	所 属	局 名 称	呼 出 名 称	強 制 権 限	受信グループ																	
					一 括	本 部	本 部 員	幹 部 副 含	幹 部	現 地 幹 部	鳥 取 幹 部	副 団 長 G	ブ ロ ック	地 区 団	ブ ロ 正 副	ブ ロ 団 長	局 団 一 括	東 部 消 防	女 性 分 団	市 役 所	危 機 管 理	
54	5 ブロ	国府地副長	国府副地区団長		○			○					副25	5ブロ	国府 地区	5B 正副			鳥取管区			
55	5 ブロ	車 国府1	国 府 1		○			○	○				副25	5ブロ	国府 地区				鳥取管区			
56	5 ブロ	国府第一	国府一分団長		○								副25	5ブロ	国府 地区				鳥取管区			
57	5 ブロ	車 国府2	国 府 2		○			○	○				副25	5ブロ	国府 地区				鳥取管区			
58	5 ブロ	国府第二	国府二分団長		○								副25	5ブロ	国府 地区				鳥取管区			
59	5 ブロ	車 国府3	国 府 3		○			○	○				副25	5ブロ	国府 地区				鳥取管区			
60	5 ブロ	国府第三	国府三分団長		○								副25	5ブロ	国府 地区				鳥取管区			
61	5 ブロ	車 国府4	国 府 4		○			○	○				副25	5ブロ	国府 地区				鳥取管区			
62	5 ブロ	国府第四	国府第四分団長		○								副25	5ブロ	国府 地区				鳥取管区			

No.	所 属	局 名 称	呼 出 名 称	強 制 権 限	受信グループ																
					一 括	本 部	本 部 員	幹 部 副 含	幹 部	現 地 幹 部	鳥 取 幹 部	副 団 長 G	ブ ロ ック	地 区 団	ブ ロ 正 副	ブ ロ 団 長	局 団 一 括	東 部 消 防	女 性 分 団	市 役 所	危 機 管 理
63	5 ブロ	福部地団長	福部地区団長		○			○	○	○		副25	5ブロ	福部地区	5B 正副			岩美管区			
64	5 ブロ	福部地副長	福部副地区団長		○			○				副25	5ブロ	福部地区	5B 正副			岩美管区			
65	5 ブロ	車 福部	福 部 1		○			○	○			副25	5ブロ	福部地区				岩美管区			
66	5 ブロ	福部第一	福部一分団長		○							副25	5ブロ	福部地区				岩美管区			
67	5 ブロ	福部第二	福部第二分団長		○							副25	5ブロ	福部地区				岩美管区			
68	5 ブロ	福部第三	福部三分団長		○							副25	5ブロ	福部地区				岩美管区			
69	6 ブロ	河原地団長	河原地区団長		○			○	○	○		副6	6ブロ	河原地区	6B 正副	6B 団長		八頭管区			
70	6 ブロ	河原地副長	河原副地区団長		○			○				副6	6ブロ	河原地区	6B 正副			八頭管区			
71	6 ブロ	車 河原本	河原本部車		○			○	○			副6	6ブロ	河原地区				八頭管区			

No.	所 属	局 名 称	呼 出 名 称	強 制 権 限	受信グループ																
					一 括	本 部	本 部 員	幹 部 副 含	幹 部	現 地 幹 部	鳥 取 幹 部	副 団 長 G	ブ ロ ック	地 区 団	ブ ロ 正 副	ブ ロ 団 長	局 団 一 括	東 部 消 防	女 性 分 団	市 役 所	危 機 管 理
72	6ブロ	河原本部団	河原本部団長		○							副6	6ブロ	河原 地区				八頭管区			
73	6ブロ	車 河原1	河 原 1		○			○	○			副6	6ブロ	河原 地区				八頭管区			
74	6ブロ	河原第一	河原一分団長		○							副6	6ブロ	河原 地区				八頭管区			
75	6ブロ	車 河原2	河 原 2		○			○	○			副6	6ブロ	河原 地区				八頭管区			
76	6ブロ	河原第二	河原二分団長		○							副6	6ブロ	河原 地区				八頭管区			
77	6ブロ	車 河原3	河 原 3		○			○	○			副6	6ブロ	河原 地区				八頭管区			
78	6ブロ	河原第三	河原三分団長		○							副6	6ブロ	河原 地区				八頭管区			
79	6ブロ	用瀬地団長	用瀬地区団長		○			○	○	○		副6	6ブロ	用瀬 地区	6B 正副	6B 団長		八頭管区			
80	6ブロ	用瀬地副長	用瀬副地区団長		○			○				副6	6ブロ	用瀬 地区	6B 正副			八頭管区			

No.	所 属	局 名 称	呼 出 名 称	強 制 権 限	受信グループ																	
					一 括	本 部	本 部 員	幹 部 副 含	幹 部	現 地 幹 部	鳥 取 幹 部	副 団 長 G	ブ ロ ック	地 区 団	ブ ロ 正 副	ブ ロ 団 長	局 団 一 括	東 部 消 防	女 性 分 団	市 役 所	危 機 管 理	
81	6ブロ	車 用瀬	用 瀬 1		○			○	○				副6	6ブロ	用瀬 地区				八頭管区			
82	6ブロ	用瀬分団	用瀬分団長		○								副6	6ブロ	用瀬 地区				八頭管区			
83	6ブロ	車 社	社 1		○			○	○				副6	6ブロ	用瀬 地区				八頭管区			
84	6ブロ	用瀬社	社分団長		○								副6	6ブロ	用瀬 地区				八頭管区			
85	6ブロ	車 大村	大 村 1		○			○	○				副6	6ブロ	用瀬 地区				八頭管区			
86	6ブロ	用瀬大村	大村分団長		○								副6	6ブロ	用瀬 地区				八頭管区			
87	6ブロ	佐治地団長	佐治地区団長		○			○	○	○			副6	6ブロ	佐治 地区	6B 正副	6B 団長		八頭管区			
88	6ブロ	佐治地副長	佐治副地区団長		○			○					副6	6ブロ	佐治 地区	6B 正副			八頭管区			
89	6ブロ	車 佐治1	佐 治 1		○			○	○				副6	6ブロ	佐治 地区				八頭管区			

No.	所 属	局 名 称	呼 出 名 称	強 制 権 限	受信グループ																
					一 括	本 部	本 部 員	幹 部 副 含	幹 部	現 地 幹 部	鳥 取 幹 部	副 団 長 G	ブ ロ ック	地 区 団	ブ ロ 正 副	ブ ロ 団 長	局 団 一 括	東 部 消 防	女 性 分 団	市 役 所	危 機 管 理
90	6 ブロ	佐治第一	佐治第一分団長		○							副6	6ブロ	佐治 地区				八頭管区			
91	6 ブロ	車 佐治2	佐 治 2		○			○	○			副6	6ブロ	佐治 地区				八頭管区			
92	6 ブロ	佐治第二	佐治第二分団長		○							副6	6ブロ	佐治 地区				八頭管区			
93	7 ブロ	気高地団長	気高地区団長		○			○	○	○		副7	7ブロ	気高 地区	7B 正副	7B 団長		気高管区			
94	7 ブロ	気高地副長	気高副地区団長		○			○				副7	7ブロ	気高 地区	7B 正副			気高管区			
95	7 ブロ	車 気1C	気 高 1		○			○	○			副7	7ブロ	気高 地区				気高管区			
96	7 ブロ	車 気1積	気 高 1 積 載		○			○	○			副7	7ブロ	気高 地区				気高管区			
97	7 ブロ	気高第一	気高第一分団長		○							副7	7ブロ	気高 地区				気高管区			
98	7 ブロ	車 気高2	気 高 2		○			○	○			副7	7ブロ	気高 地区				気高管区			

No.	所 属	局 名 称	呼 出 名 称	強 制 権 限	受信グループ																
					一 括	本 部	本 部 員	幹 部 副 含	幹 部	現 地 幹 部	鳥 取 幹 部	副 団 長 G	ブ ロ ック	地 区 団	ブ ロ 正 副	ブ ロ 団 長	局 団 一 括	東 部 消 防	女 性 分 団	市 役 所	危 機 管 理
99	7プロ	気高第二	気高二分団長		○							副7	7プロ	気高 地区				気高 管区			
100	7プロ	車 気高3	気 高 3		○			○	○			副7	7プロ	気高 地区				気高 管区			
101	7プロ	気高第三	気高三分団長		○							副7	7プロ	気高 地区				気高 管区			
102	7プロ	車 気高4	気 高 4		○			○	○			副7	7プロ	気高 地区				気高 管区			
103	7プロ	気高第四	気高四分団長		○							副7	7プロ	気高 地区				気高 管区			
104	7プロ	車 気高5	気 高 5		○			○	○			副7	7プロ	気高 地区				気高 管区			
105	7プロ	気高第五	気高五分団長		○							副7	7プロ	気高 地区				気高 管区			
106	7プロ	鹿野地団長	鹿野地区団長		○			○	○	○		副7	7プロ	鹿野 地区	7B 正副	7B 団長		気高 管区			
107	7プロ	鹿野地副長	鹿野副地区団長		○			○				副7	7プロ	鹿野 地区	7B 正副			気高 管区			

No.	所 属	局 名 称	呼 出 名 称	強 制 権 限	受信グループ																	
					一 括	本 部	本 部 員	幹 部 副 含	幹 部	現 地 幹 部	鳥 取 幹 部	副 団 長 G	ブ ロ ック	地 区 団	ブ ロ 正 副	ブ ロ 団 長	局 団 一 括	東 部 消 防	女 性 分 団	市 役 所	危 機 管 理	
108	7プロ	車 鹿野1	鹿 野 1		○			○	○				副7	7プロ	鹿野 地区				気 高 管 区			
109	7プロ	鹿野第一	鹿野一分団長		○								副7	7プロ	鹿野 地区				気 高 管 区			
110	7プロ	車 鹿野2	鹿 野 2		○			○	○				副7	7プロ	鹿野 地区				気 高 管 区			
111	7プロ	鹿野第二	鹿野二分団長		○								副7	7プロ	鹿野 地区				気 高 管 区			
112	7プロ	車 鹿野3	鹿 野 3		○			○	○				副7	7プロ	鹿野 地区				気 高 管 区			
113	7プロ	鹿野第三	鹿野三分団長		○								副7	7プロ	鹿野 地区				気 高 管 区			
114	7プロ	青谷地団長	青谷地区団長		○			○	○	○			副7	7プロ	青谷 地区	7B 正副	7B 団長		気 高 管 区			
115	7プロ	青谷地副長	青谷副地区団長		○			○					副7	7プロ	青谷 地区	7B 正副			気 高 管 区			
116	7プロ	車 青1B	青 谷 1		○			○	○				副7	7プロ	青谷 地区				気 高 管 区			

No.	所 属	局 名 称	呼 出 名 称	強 制 権 限	受信グループ																	
					一 括	本 部	本 部 員	幹 部 副 含	幹 部	現 地 幹 部	鳥 取 幹 部	副 団 長 G	ブ ロ ック	地 区 団	ブ ロ 正 副	ブ ロ 団 長	局 団 一 括	東 部 消 防	女 性 分 団	市 役 所	危 機 管 理	
117	7プロ	車 青1積	青 谷 1 積 載		○			○	○				副7	7プロ	青谷 地区				気 高 管 区			
118	7プロ	青谷第一	青 谷 一 分 団 長		○								副7	7プロ	青谷 地区				気 高 管 区			
119	7プロ	車 青谷2	青 谷 2		○			○	○				副7	7プロ	青谷 地区				気 高 管 区			
120	7プロ	青谷第二	青 谷 二 分 団 長		○								副7	7プロ	青谷 地区				気 高 管 区			
121	7プロ	車 青谷3	青 谷 3		○			○	○				副7	7プロ	青谷 地区				気 高 管 区			
122	7プロ	青谷第三	青 谷 三 分 団 長		○								副7	7プロ	青谷 地区				気 高 管 区			
123	7プロ	車 青谷4	青 谷 4		○			○	○				副7	7プロ	青谷 地区				気 高 管 区			
124	7プロ	青谷第四	青 谷 四 分 団 長		○								副7	7プロ	青谷 地区				気 高 管 区			
125	7プロ	車 青5C	青 谷 5		○			○	○				副7	7プロ	青谷 地区				気 高 管 区			

No.	所 属	局 名 称	呼 出 名 称	強 制 権 限	受信グループ																	
					一 括	本 部	本 部 員	幹 部 副 含	幹 部	現 地 幹 部	鳥 取 幹 部	副 団 長 G	ブ ロ ック	地 区 団	ブ ロ 正 副	ブ ロ 団 長	局 団 一 括	東 部 消 防	女 性 分 団	市 役 所	危 機 管 理	
126	7プロ	車 青5積	青 谷 5 積 載		○			○	○				副7	7プロ	青谷 地区				気 高 管 区			
127	7プロ	青谷第五	青 谷 五 分 団 長		○								副7	7プロ	青谷 地区				気 高 管 区			
128	市役所	市災対本部	災 害 対 策 本 部		○	○											○					
129	市役所	団本部室	消 防 団 本 部	●	○	○	○	○	○	○	○	○*	○*	○*	○*	○*	○	○*	○	○	○	○
130	市役所	無 線 室	無 線 室		○	○	○	○	○	○	○	○*	○*	○*	○*	○*	○	○*	○	○	○	○
131	市役所	危管部長	危 機 管 理 1		○	○											○	局 団 本 部				
132	市役所	危管課長	危 機 管 理 2		○	○											○	局 団 本 部	○	○	○	○
133	市役所	危管参事	危 機 管 理 3		○	○											○	局 団 本 部			○	○
134	市役所	危管補佐	危 機 管 理 4		○	○											○	局 団 本 部	○	○	○	○

No.	所 属	局 名 称	呼 出 名 称	強 制 権 限	受信グループ																
					一 括	本 部	本 部 員	幹 部 副 含	幹 部	現 地 幹 部	鳥 取 幹 部	副 団 長 G	ブ ロ ック	地 区 団	ブ ロ 正 副	ブ ロ 団 長	局 団 一 括	東 部 消 防	女 性 分 団	市 役 所	危 機 管 理
135	市役所	消防事務1	危機管理5		○	○		○	○								○	局団本部	○	○	○
136	市役所	消防事務2	危機管理6		○	○		○	○								○	局団本部	○	○	○
137	市役所	国府支所	国府支所		○			○	○						国府 地区		○	鳥取管区		○	
138	市役所	福部支所	福部支所		○			○	○						福部 地区		○	岩美管区		○	
139	市役所	河原支所	河原支所		○			○	○						河原 地区		○	八頭管区		○	
140	市役所	用瀬支所	用瀬支所		○			○	○						用瀬 地区		○	八頭管区		○	
141	市役所	佐治支所	佐治支所		○			○	○						佐治 地区		○	八頭管区		○	
142	市役所	気高支所	気高支所		○			○	○						気高 地区		○	気高管区		○	
143	市役所	鹿野支所	鹿野支所		○			○	○						鹿野 地区		○	気高管区		○	

No.	所 属	局 名 称	呼 出 名 称	強 制 権 限	受信グループ																	
					一 括	本 部	本 部 員	幹 部 副 含	幹 部	現 地 幹 部	鳥 取 幹 部	副 団 長 G	ブ ロ ック	地 区 団	ブ ロ 正 副	ブ ロ 団 長	局 団 一 括	東 部 消 防	女 性 分 団	市 役 所	危 機 管 理	
144	市役所	青谷支所	青 谷 支 所		○			○	○						青谷 地区			○	気 高 管 区		○	
145	常備消防	東部消防	東 部 消 防	●	○													○	○*			
146	常備消防	局 1	局 1		○													○	○*			
147	常備消防	局 2	局 2		○													○	○*			
148	常備消防	局 3	局 3		○													○	○*			
149	常備消防	局 4	局 4		○													○	○*			
150	常備消防	局 5	局 5		○													○	○*			
151	常備消防	局 6	局 6		○													○	○*			
152	常備消防	鳥取消防署	鳥 取 署		○													○	○*			

No.	所 属	局 名 称	呼 出 名 称	強 制 権 限	受信グループ																
					一 括	本 部	本 部 員	幹 部 副 含	幹 部	現 地 幹 部	鳥 取 幹 部	副 団 長 G	ブ ロ ック	地 区 団	ブ ロ 正 副	ブ ロ 団 長	局 団 一 括	東 部 消 防	女 性 分 団	市 役 所	危 機 管 理
153	常備消防	吉方出張所	吉 方 所		○												○	○*			
154	常備消防	東町出張所	東 町 所		○												○	○*			
155	常備消防	国府分遣所	国 府 所		○												○	○*			
156	常備消防	湖山消防署	湖 山 署		○												○	○*			
157	常備消防	岩美消防署	岩 美 署		○												○	○*			
158	常備消防	八頭消防署	八 頭 署		○												○	○*			
159	常備消防	智頭出張所	智 頭 所		○												○	○*			
160	常備消防	若桜出張所	若 桜 所		○												○	○*			
161	常備消防	用瀬出張所	用 瀬 所		○												○	○*			

No.	所 属	局 名 称	呼 出 名 称	強 制 権 限	受信グループ																
					一 括	本 部	本 部 員	幹 部 副 含	幹 部	現 地 幹 部	鳥 取 幹 部	副 団 長 G	ブ ロ ック	地 区 団	ブ ロ 正 副	ブ ロ 団 長	局 団 一 括	東 部 消 防	女 性 分 団	市 役 所	危 機 管 理
162	常備消防	気高消防署	気 高 署		○												○	○*			
163	常備消防	青谷出張所	青 谷 所		○												○	○*			

注釈  : すべての局に対し強制的に割込通信を行う権限を有する端末を示しています。

○ : メイングループ (他の個別・グループ通信を行った場合は、必ず「一括」に戻してください。)

○* : 同項目の全グループを設定しています。

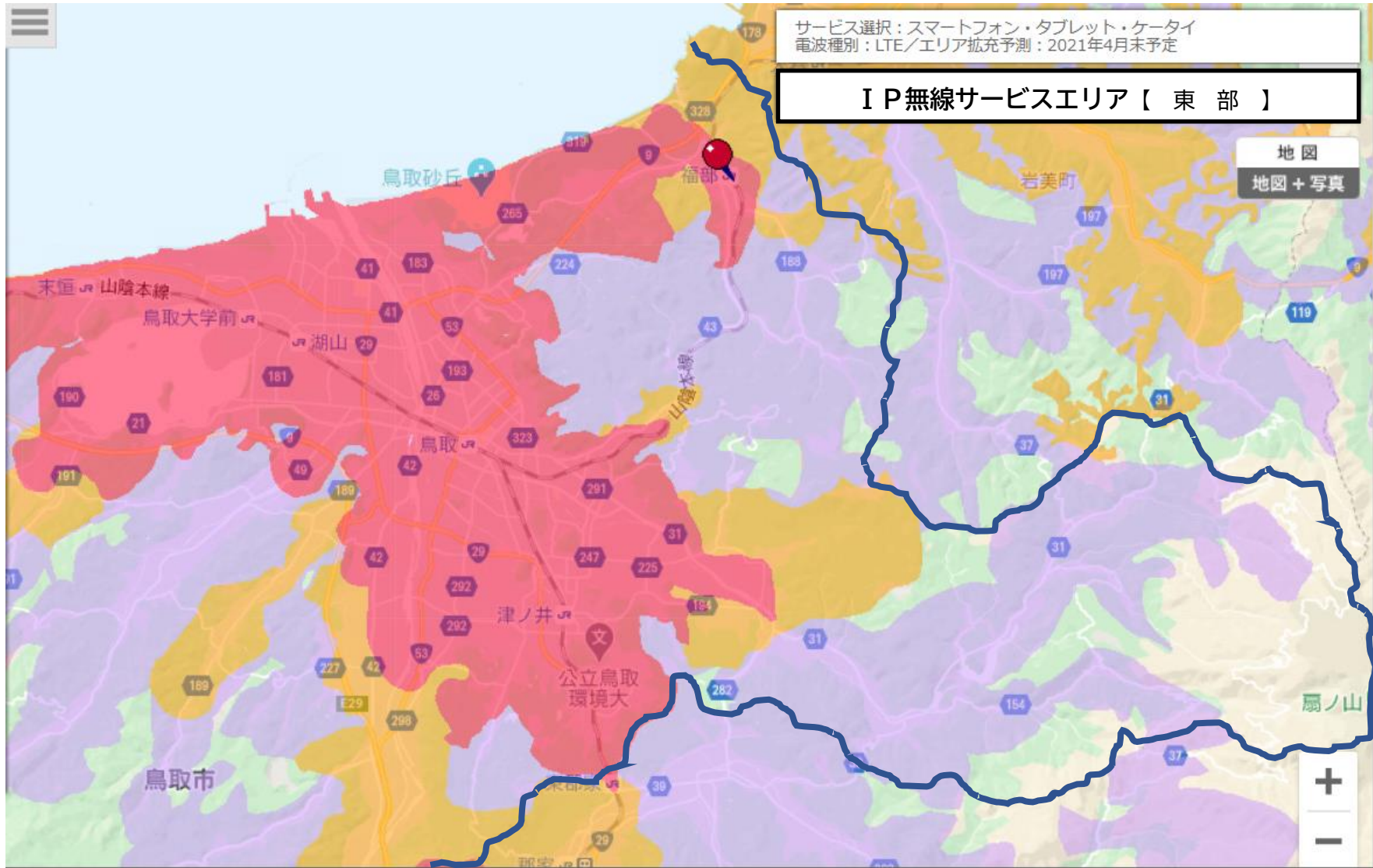
800MHz帯デジタル
mcAccess e サービスエリア



サービス選択：スマートフォン・タブレット・ケータイ
電波種別：LTE/エリア拡充予測：2021年4月末予定

IP無線サービスエリア【 東 部 】

地図
地図 + 写真



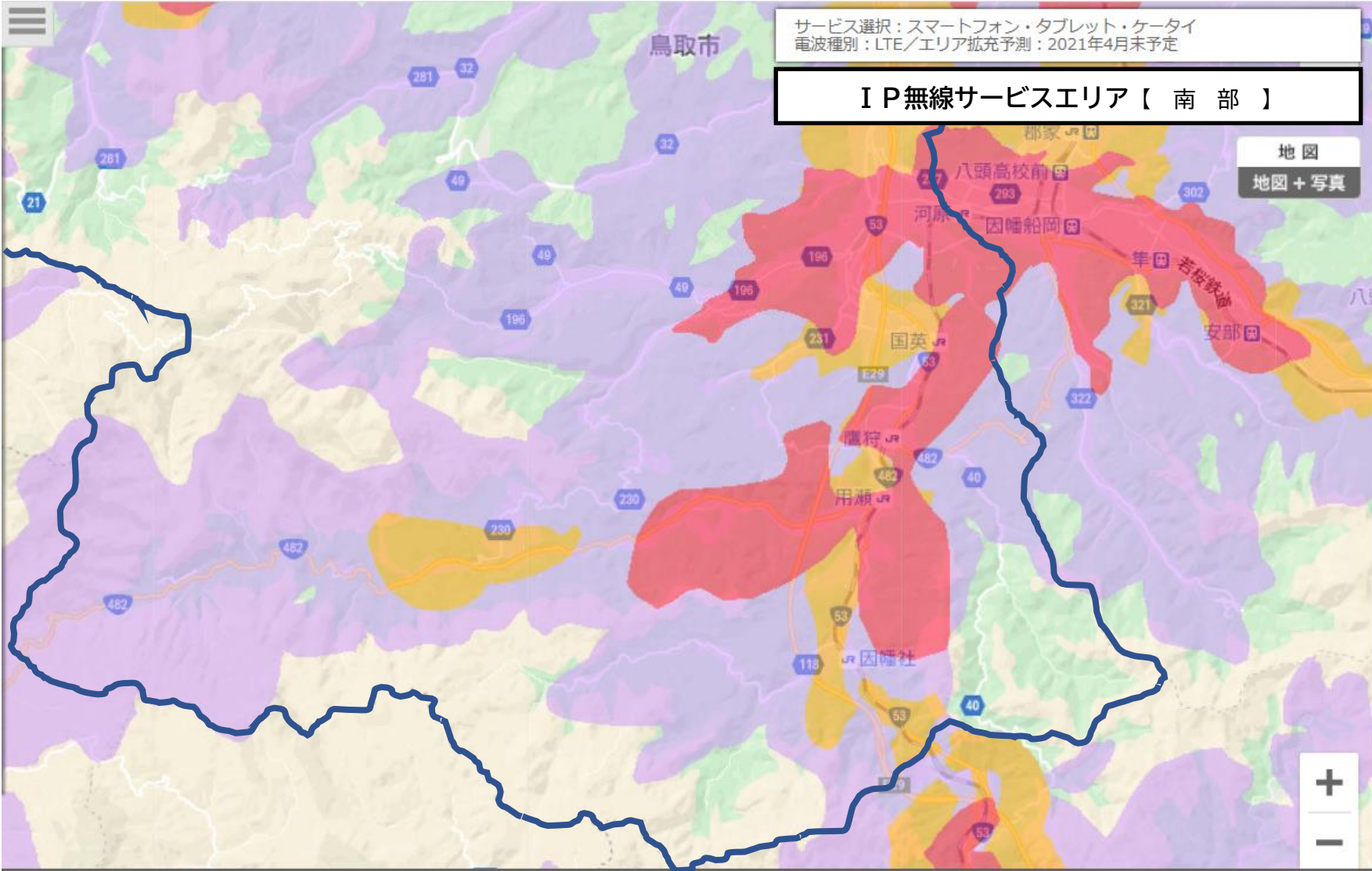
凡例 (LTEエリア)

- LTEエリア(PREMIUM 4G)
- LTEエリア
- LTEエリア(800MHz)
- FOMAエリア・FOMAプラスエリア
- 青線：市境界 赤・黄・桃・紫エリア：通信可能領域

サービス選択：スマートフォン・タブレット・ケータイ
電波種別：LTE/エリア拡充予測：2021年4月末予定

IP無線サービスエリア【南部】

地図
地図 + 写真



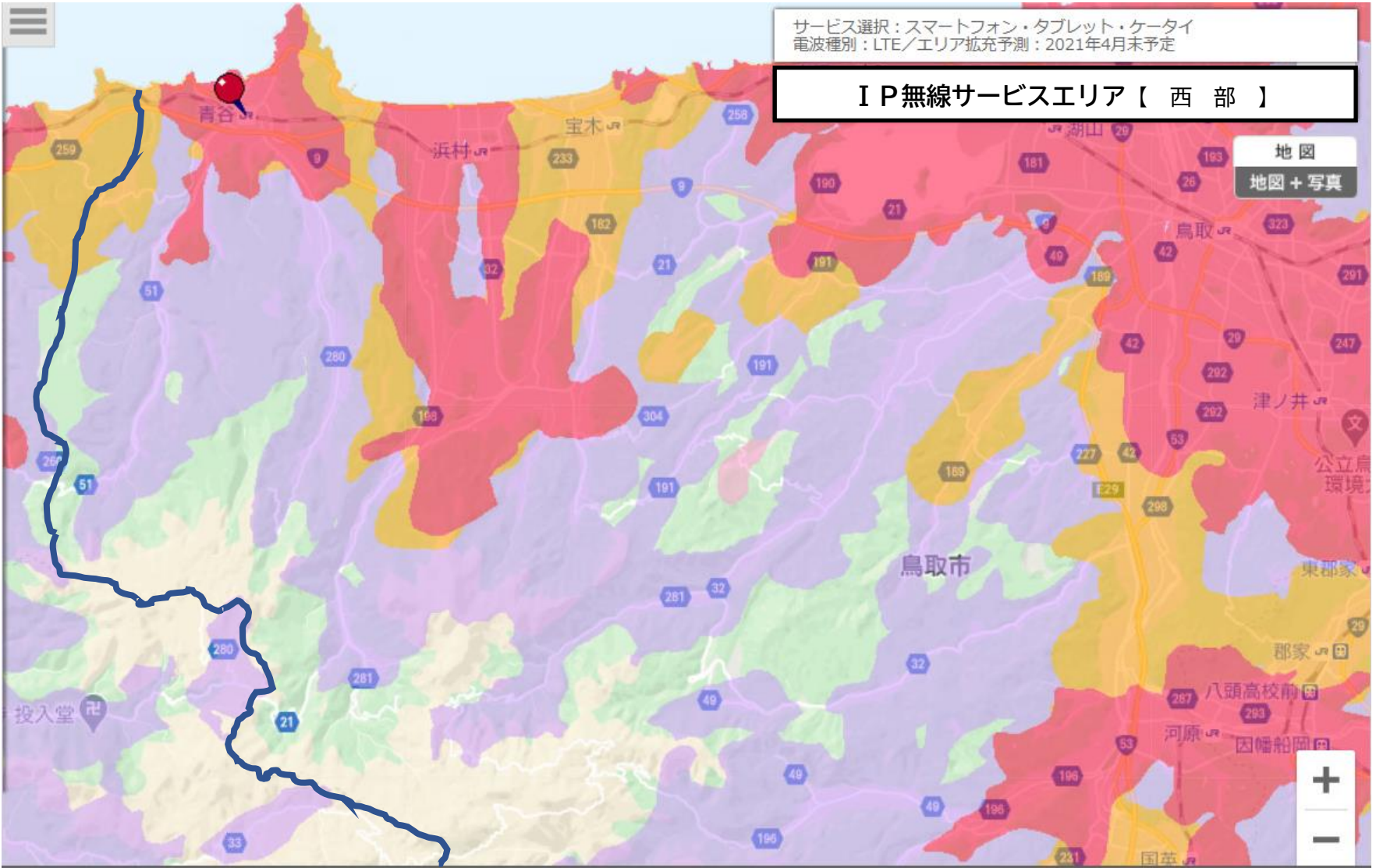
凡例 (LTEエリア)

- LTEエリア(PREMIUM 4G)
- LTEエリア
- LTEエリア(800MHz)
- FOMAエリア・FOMAプラスエリア
- 青線：市境界
- 赤・黄・桃・紫エリア：通信可能領域

サービス選択：スマートフォン・タブレット・ケータイ
電波種別：LTE/エリア拡充予測：2021年4月末予定

IP無線サービスエリア【西部】

地図
地図 + 写真



凡例 (LTEエリア)

- 赤 LTEエリア(PREMIUM 4G)
- オレンジ LTEエリア
- 紫 LTEエリア(800MHz)
- ピンク FOMAエリア・FOMAプラスエリア
- 青線：市境界
- 赤・黄・桃・紫エリア：通信可能領域

手引書修正履歴

年 月 日	修 正 概 要	担当者
令和3年4月1日	初版	益田
令和4年4月1日	表7「通信体系表」(P24)No.4 呼出名称	益田

制作元・問い合わせ先

鳥取市 危機管理部 危機管理課

【本手引書・無線の維持管理に関すること】

危機対策係 電話 0857-30-8033

【消防団の事業・組織に関すること】

消防企画係 電話 0857-30-8032

FAX 共通 0857-20-3042

e-mail kikikanri@city.tottori.lg.jp